

# 臨床腫瘍セミナー

## 8月19日(火) 18時～19時

# 緩和ケアにおける基本的ケアの価値

北海道医療大学 大学院看護福祉学研究科 客員教授

# 石垣 靖子 先生



### 講演内容：

緩和ケアの最終目標は、「患者とその家族にとって出来る限り良好な Quality of Life (QOL) を実現させることである。(WHO)」私たち医療者にとっては、目の前にいる患者に対して良好なQOLを実現する役割がある。清水は、医学的なQOLの評価は「ある人の身体環境が、その人の人生のチャンスないし可能性(選択の幅)をどれほど広げているか(言い換えれば、どれほど自由にしているか)である」と述べている。すなわち、患者の身体環境の自由度を拡げる挑戦が医療者の役割である。

私たちナースは、それぞれに異なる人たちの生活(暮らし)の営みを整えるという本質的な役割がある。それは、生物体としての生命の営みを整えると同時に、患者一人ひとりの物語られるいのち(生活・人生)を尊重することから成り立つ。患者に寄り添いながら細々とした日常生活の営みを支え、そのプロセスをとおして、その人が自分は大事な存在としてケアされていると感じる事ができたら、どれほどその人の潜在的な力を引き出すことができるのか。治療期においても終末期においても、基本的看護を徹底的に行うことが患者のいのちを救い、尊厳を取り戻すことにもなる。これまで出会った多くの患者の事例をとおして、改めて基本的なケアの意味を再考してみたい。

### 略歴：

- 1960年 北海道大学医学部附属看護学校卒業  
北海道大学医学部附属病院・北海道大学医学部附属看護学校  
北海道大学医学部附属病院副看護部長
- 1986年 医療法人東札幌病院看護部長
- 1987年 同院 理事 副院長・看護部長
- 2002年 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科教授(2008年まで兼任)
- 2008年3月 東札幌病院退職
- 2012年3月 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科退職
- 2012年4月 同大学 客員教授 現在に至る

\*がん治療に携わる医師及びメディカルスタッフを対象に公開セミナーとして開催されます。

\*本セミナーは、「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。

\*本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必須科目(規定の8)に該当します。

### 【次回開催お知らせ】

平成26年9月16日(火) 当院内視鏡診療部  
副部長 引地 拓人先生

『消化器系腫瘍に対する内視鏡診療時の  
抗血栓薬服用者への対応とアクシデント  
～院内コンセンサスの紹介も含めて～』